

淀川左岸線(2期)事業だより

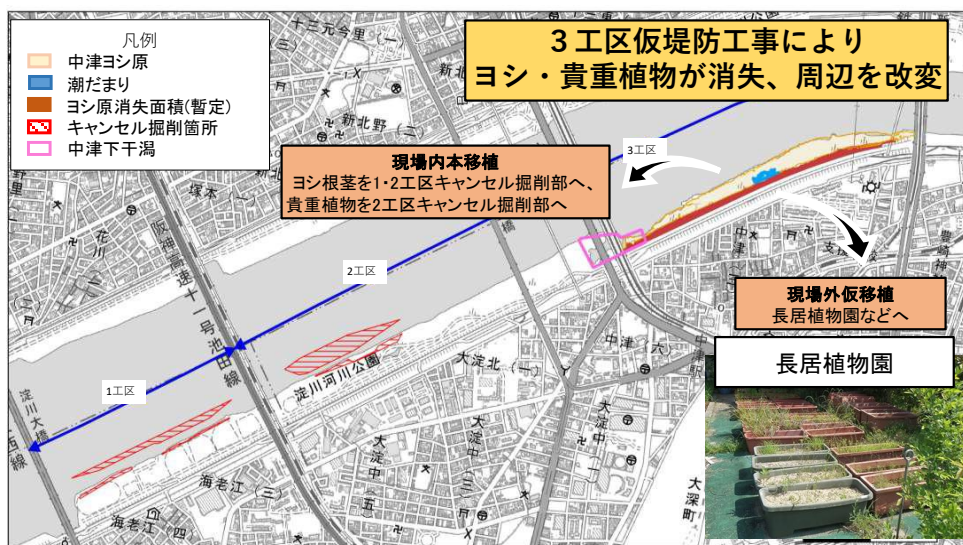
(第10号)

※ 淀川左岸線(2期)事業の概要は創刊号(第1号)をご覧ください

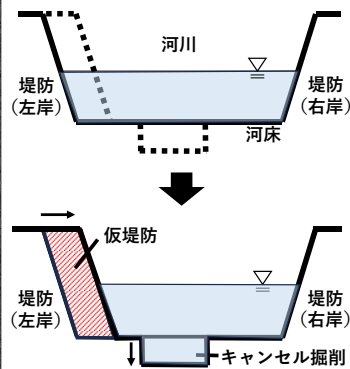


自然環境保全について

本事業を進めるにあたり、自然環境の保全について適正に配慮していくために、第三者の有識者で構成する淀川環境委員会(淀川左岸線事業ワーキング)にて指導等を受け、動植物のモニタリングや各種の具体的な保全対策を実施しています。今回はその取組みの内容を紹介します。



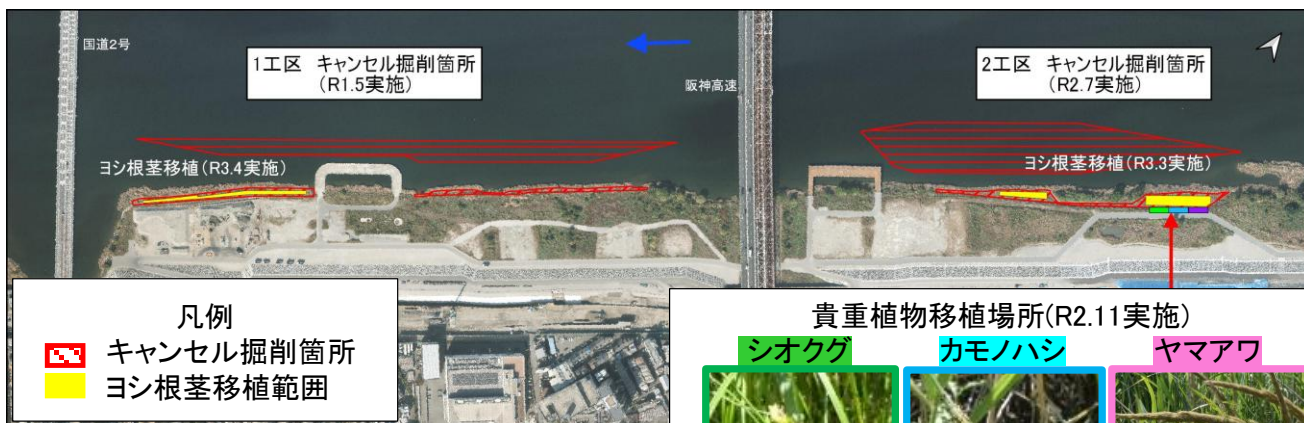
▲全体図



▲キャンセル掘削のイメージ

<キャンセル掘削部>

河川内に仮堤防を設置することにより河川断面が減ることになるため、洪水時にも河川が安全に流れるように、河床部などの掘削(キャンセル掘削)を行いました。仮堤防工事により消失するヨシ・貴重植物を保全するために、工事に影響のないキャンセル掘削部へ本移植を行うとともに、大阪市立長居植物園などにも仮移植を行っており、今後、本移植先について淀川左岸線事業ワーキングに諮り、検討していきます。



▲キャンセル掘削箇所及び移植箇所



<中津ヨシ原>

3工区にある中津ヨシ原では、令和3年度に仮堤防工事を行う際に工事車両の仮設通路を一時的に設置しました。その範囲でヨシが一度消失しましたが、軟弱地盤対策として環境に配慮した中性固化剤を用いたことにより、仮設通路撤去後にヨシが回復する様子がみられています。



▲中津ヨシ原 令和4年度



▲中津ヨシ原 令和7年度

<大阪市立自然史博物館>

仮移植中の貴重植物が枯死した場合に備え、大阪市立博物館にて種子の保存も実施しています。

カモノハシ	ミコシガヤ	シオクグ	オガルカヤ

▲貴重植物の種子

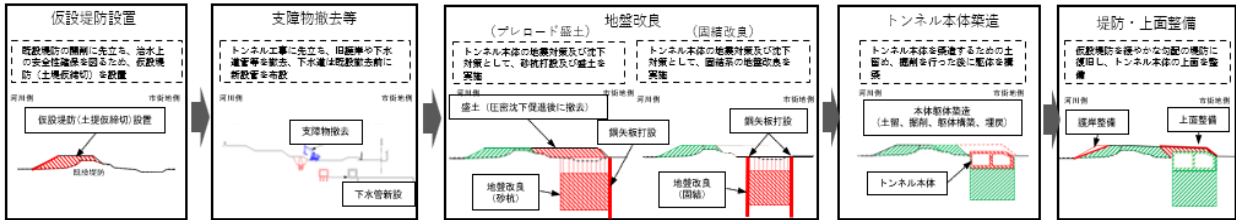
工事の進捗状況

淀川左岸線（2期）事業は、全長 4.4km の区間を大きく 1～3 工区の 3 分割にして下流側の 1 工区から順次工事を進めています。河川の堤防を一部掘削してトンネルを構築することから、治水上の安全性を確保するために、仮設堤防を川側に構築したうえで、トンネルを構築しております（下記ステップ図参照）。

令和 8（2026）年 3 月現在、万博アクセスルートとして設置した舗装等の暫定施設の撤去が概ね終了し、1 工区の国道 2 号付近から JR 神戸線間ではトンネル本体の躯体を築造中です。2～3 工区では、トンネル躯体の構築に先立ち軟弱地盤への対策として、セメント系の材料により地盤を固める地盤改良や仮橋の設置等を行っています。



淀川左岸線（2期）施工ステップ図



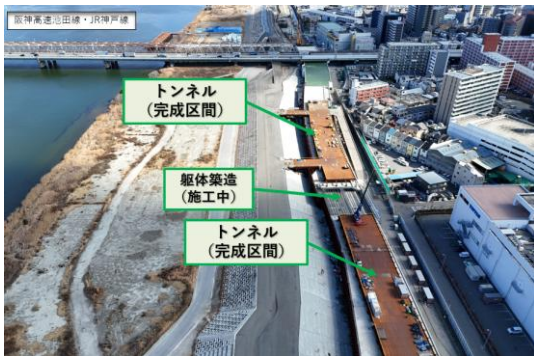
現在の施工段階（令和 8 年 3 月時点）



2 工区・3 工区

1 工区、2 工区（大淀 IC 付近）
3 工区（豊崎 IC 付近）

令和 8 年 2 月の工事状況（ドローン空撮）



▲ 1 工区（海老江 JCT～JR 神戸線）



▲ 2 工区（JR 神戸線～阪急電鉄）



▲ 3 工区（阪急電鉄～新御堂筋）

最新の施工状況は建設局 YouTube でご覧いただけます
ドローン映像 URL（再生リスト）：

https://youtube.com/playlist?list=PLt8-6DQr_zPYlrX618IhmAHj30YfNRJmL&si=NeAVgcm-EXBa5bnc

お問合せ：

大阪市建設局 淀川左岸線 2 期建設事務所

住所：福島区野田 6-2-16

電話：06-6466-2180

